

研究名：脊髄係留解除術における脊髄空洞症の臨床像および長期予後に

関する後方視的研究

1. 研究の目的

小児の脊髄空洞症の正確な自然歴は未だわかっていない部分が多いですが、空洞症に伴う神経症状の出現や、側弯症の発症に関与するとされています。原因は不明であることも多いですが、脊髄係留に伴って生じる場合があることが知られています。しかし、脊髄係留解除後の脊髄空洞症の変化や長期予後については不明なところが多いのが現状です。本研究では、脊髄係留解除術を行った小児の脊髄空洞症患者の臨床的特徴と長期機能予後について当院の治療成績をまとめ、海外既報の治療成績と比較・検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2002年4月～2018年12月までに脊髄係留解除術を受けた脊髄空洞症のある方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月
- ③ 研究方法：対象となる患者さんのデータを診療カルテから抽出し、当院の治療成績をまとめ、海外既報の治療成績と比較・検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテにあるデータ（性別、年齢、身長、体重、病名、病歴、検査データ、画像データ等）

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年11月30日下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 医員 石坂栄太郎

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7931）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 脳神経外科 医員 石坂栄太郎